

岩手県はばたき賞表彰実施細目

第1 総則

この実施細目は、岩手県はばたき賞表彰実施要綱（以下「要綱」という）第10に基づき、表彰に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2 表彰対象（要綱第2関係）

- 1 児童生徒等には、高等専門学校の1年生から3年生の学生を含み、幼児は含まない。
- 2 児童生徒等で構成する団体には、児童生徒等以外の者を含む団体を除く。ただし、高等専門学校において活動を行う団体であり、同校の1年生から3年生を含む場合には団体として表彰対象とする。
- 3 前項の規定により表彰対象から除く団体であっても、当該団体に所属する児童生徒等については個人として表彰対象とする。
- 4 原則として、同一年度において同一の表彰基準による表彰は1回とする。
- 5 被表彰者が個人である場合、原則として、小学校、中学校、高等学校のそれぞれに在籍する期間内において、同一の表彰基準による表彰は1回とする。なお、義務教育学校、高等専門学校、特別支援学校については、これを準用する。

第3 表彰基準（要綱第3関係）

- 1 善行表彰に係る具体的な表彰基準は次のとおりとする。
 - (1) 要綱第3の1の(1)に定める「人命救助等」は次のいずれかとする。
 - ア 人命救助又は救護活動
 - イ 災害、火災、事故等の発生防止又は被害拡大防止
 - ウ 犯罪防止又は犯罪者逮捕への協力
 - (2) 要綱第3の1の(1)に定める「相当の評価」は次のいずれかとする。
 - ア 行政機関からの表彰
 - イ 公益法人等の公益性や公共性の高い団体からの表彰
 - (3) 要綱第3の1の(2)に定める「広く地域・社会に寄与する児童生徒等の自主的・自発的な活動」は、長く継承されてきたもの又は社会の変化に対応した新たなものであって、次のいずれかに関するものとする。
 - ア 社会福祉に関する活動
 - イ 自然環境保護、環境美化に関する活動
 - ウ 防災に関する活動
 - エ 防犯に関する活動
 - オ 文化財保護に関する活動
 - カ 伝統芸能の継承や文化芸術の振興に関する活動
 - キ スポーツの振興に関する活動
 - ク 国際的な親善、平和、交流に関する活動
 - ケ 地域社会の活性化に関する活動
 - コ 公衆衛生や健康増進に関する活動
 - サ 東日本大震災津波等からの復興に関する活動
 - (4) 要綱第3の1の(2)に定める「相当の評価」は、次のいずれかとする。
 - ア 国の機関からの表彰
 - イ (3)の各項目に関連し、全国的に活動している公益法人等の公益性や公共性の高い団体から高く評価されたもの
 - (5) 教育課程に位置付けられ、児童生徒等の参加が義務づけられている活動（以下「教育課程活動」という。）は、原則として表彰基準に含まない。ただし、教育課程活動が一部に限定される活動は、表彰基準を含む。
- 2 奨励表彰に係る具体的な表彰基準は次のとおりとする。
 - (1) 要綱第3の2の(1)に定める「クラブ活動、部活動等」は、学校での活動に加えて、学校以外での活動を含む。

(2) 要綱第3の2の(1)に定める「顕著な成果」は、下表のとおりとする。

	国内大会（コンクール）	国際大会（コンクール）
該当する大会等	<p>次の全てを満たすものとする。</p> <p>ア 次のいずれかが主催、共催若しくは後援するもの。</p> <p>(ア) 文科省等の国レベルの行政機関</p> <p>(イ) 公益財団法人日本スポーツ協会に加盟・準加盟している団体や全国高等学校等野球連盟等スポーツ活動に係る国内関係団体を総括する団体</p> <p>(ウ) 全国高等学校文化連盟等文化芸術活動に係る国内関係団体を総括する団体</p> <p>イ 参加に当たって予選や選考、関係団体の推薦又は資格等が必要となるもの。</p> <p>ウ 広く全国からの相当数の参加・応募等があり、国内の最高位相当を決するもの。</p>	<p>次の全てを満たすものとする。</p> <p>ア 世界各国から一定数の参加や応募があり、国際的に評価されているもの。</p> <p>イ 参加に当たって国内予選や選考、関係団体の推薦又は資格等が必要となるもの。</p>
大会等での成績	<p>次のいずれかとする。</p> <p>ア 優勝や1位、最高賞等に相当するもの。</p> <p>イ 国民体育大会、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会、全国高等学校総合文化祭、全日本合唱コンクール等、国内最高位相当を決する主要大会において、2位や準優勝等に相当であるもの。</p> <p>ウ その他、ア、イと同等であると評価できるもの。</p>	<p>次のいずれかとする。</p> <p>ア 上位入賞（8位相当まで）したもの。</p> <p>イ その他、アと同等であると評価できるもの。</p>

(3) 要綱第3の2の(2)に定める「他の模範となる活動」は、次のいずれかとする。

- ア 学校の活性化を図る活動
- イ 児童生徒等の士気や母校への愛着を高める活動
- ウ 地域の活性化に寄与する活動

(4) 要綱第3の2の(2)に定める「相当の評価」は、関係団体から高く評価されているものとする。

3 努力表彰に係る具体的な表彰基準は次のとおりとする。

(1) 要綱第3の3の(1)に定める「地道な努力により、他の模範となる行為又は活動」は、次のいずれかとする。

- ア 困難な環境と向き合いながら、学校生活を意欲的に送り、人物や人柄、態度が他の児童生徒等の模範となる行為又は活動
- イ 障がい、難病と向き合いながら、学校生活（通学が困難な場合、病院や自宅での教育を含む）を意欲的に送り、人物や人柄、態度が他の児童生徒等の模範となる行為又は活動

(2) 要綱第3の3の(1)に定める「相当の評価」は、次のいずれかとする。

- ア 各種大会やコンクール等の入賞又は関係団体等からの表彰等とする。なお、各種大会やコンクール等は2の(2)の表中の該当する大会等に準じる。
- イ 関係団体から高く評価されているもの。
- ウ 学校長がア、イと同等と判断し、高く評価されるもの。

第4 被表彰候補者の推薦（要綱第4関係）

1 被表彰候補者が在籍している学校長は、岩手県はばたき賞表彰の被表彰候補者推薦書（様式1）に、次の資料を添付し、推薦するものとする。

- (1) 表彰状、感謝状等の写し
- (2) 大会開催要項等、主催者、共催者、後援者、参加資格等がわかるものの写し
- (3) 大会、コンクール等の全体の結果がわかるもので、ホームページ等で公式発表されているものの写し
- (4) 新聞記事等の写し
- (5) 要綱第3の1の(2)、第3の2の(2)、第3の3の(1)に定める相当の評価として、大会やコンクールの入賞や関係団体から表彰がない場合は、相当の評価を証する学校以外の関係団体等からの推薦書

- 2 市町村教育委員会教育長は、岩手県はばたき賞表彰の被表彰候補者推薦書（様式2）に、学校長が提出した被表彰候補者の推薦資料を添付し、推薦するものとする。

第5 審査会（要綱第5 関係）

- 1 審査会の構成は次のとおりとする。

委員長	教育次長
副委員長	学校調整課総括課長
	学校教育課総括課長
委員	学校調整課産業・復興教育課長
	学校調整課生徒指導課長
	学校教育課義務教育課長
	学校教育課高校教育課長
	学校教育課特別支援教育課長
	保健体育課総括課長
	生涯学習文化財課総括課長
	学事振興課総括課長

- 2 審査会の運営は、次のとおりとする。

- (1) 委員長は、審査会を主催する。
- (2) 委員長に事故あるときは、副委員長が職務を代理する。
- (3) 委員長は、必要に応じ、審査会に出席する委員を調整することができる。

第6 被表彰者の公表（要綱第6 関係）

- 1 表彰状の授与にあわせて県ホームページ等に被表彰者の所属、氏名及び表彰理由等を掲載する。